

ゆざわまち

～あなたと議会を結ぶ架け橋～

議会だより

第133号

[平成31年] 3月議会 4月14日発行



湯沢中学校2年 太田 七摘 選手



湯沢中学校2年 金井 渚 選手

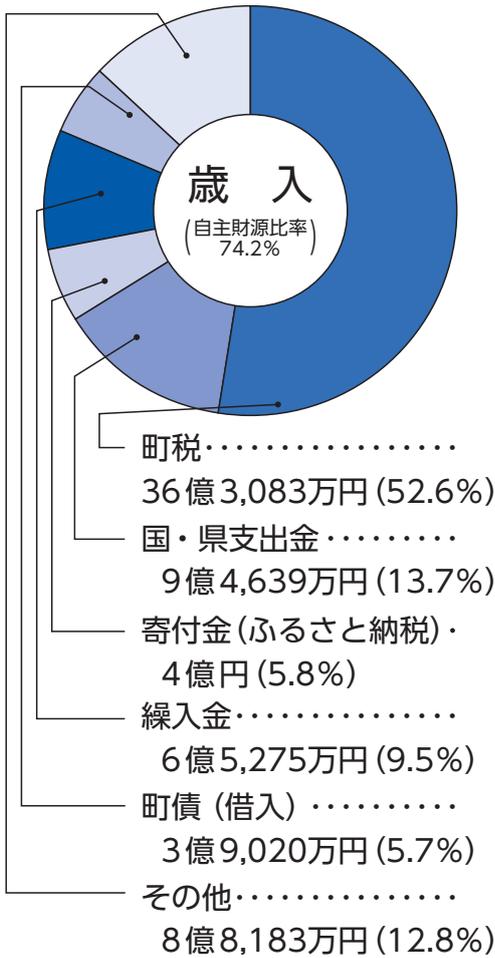
3月定例会／3月5日(火)～19日(火)

平成31年度当初予算賛成多数で可決されました

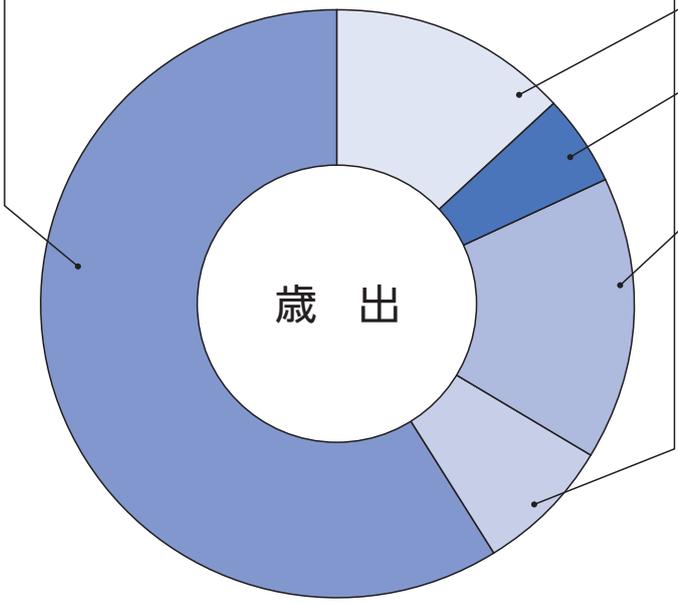
第56回 全国中学校スキ一大会 苗場会場

平成31年度
一般会計予算

総額69億200万円



人件費	9億1,372万円 (13.2%)
公債費(返済)	3億3,809万円 (4.9%)
6会計へ支出	10億7,946万円 (15.6%)
南魚沼市へ支出	5億1,519万円 (7.5%)
その他	40億5,554万円 (58.8%)



主な事業等

- ◇ アルペンスキーワールドカップ負担金 2,000万円
- ◇ 空家バンク運営業務 200万円
- ◇ 地域おこし協力隊 4,500万円
- ◇ 魚野川右岸遊歩道整備 940万円
- ◇ 三俣地域観光看板整備 300万円
- ◇ ホタルの里遊歩道改修 200万円
- ◇ 公園施設長寿命化対策支援事業 8,000万円
- ◇ 消防サイレン吹鳴スピーカー改修 950万円



他会計への支出

国民健康保険特別会計	8,652万円
後期高齢者医療特別会計	2,283万円
介護保険特別会計	1億5,024万円
下水道特別会計	5億6,000万円
水道事業会計	622万円
病院事業会計	2億5,365万円

基金残高 (平成31年度見込み)

(一般会計)計	16億4,001万円
(特別会計)計	2億7,822万円

地方債残高 (平成31年度見込み)

一般会計	41億2,796万円
下水道特別会計	33億4,563万円
水道事業会計	4億7,171万円
病院事業会計	2億6,320万円

アルペンスキーワールドカップ負担金

2,000万円



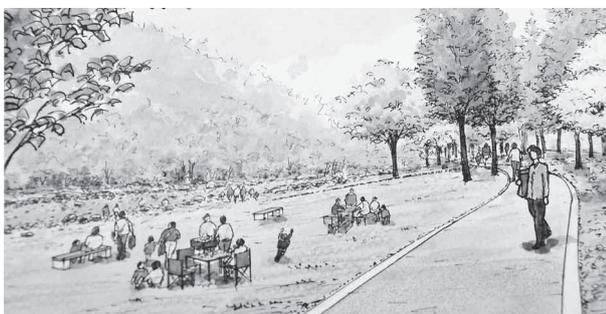
湯沢高原ロープウェイ関連施設整備

1億3,308万円



魚野川右岸遊歩道整備

940万円



公園施設長寿命化対策支援事業

8,000万円



湯沢西地区街なみ環境整備事業

9,201万円



消防サイレン吹鳴スピーカー改修

950万円



公民館駐車場拡張

1,600万円



国民文化祭湯沢町実行委員会負担金

120万円



国民文化祭のポスター

町長の施政方針に対する代表質問

※町長施政方針は町広報3月31日号をご覧ください。

文教委員会 総務常任委員会



代表質問者
岸野 雅人

- 質問 31年度策定の総合戦略には、さらなる独自性・先進性も必要ではないか。
- 答弁 実効性ある新たな戦略にしたい。
- 質問 『サイレンスピーカー』の改修、性能と他システムとの連携は。
- 答弁 三国3箇所。1km聞こえるものに。放送は肉声発信となる。
- 質問 任期中の童画美術館建設は後退なのか。岡谷市などの視察は考えないのか。
- 答弁 しつかり考える。検討する。
- 質問 童画は個人にも貸すのか。そうなるのであれば観れる。拠点施設は必要なのか。
- 答弁 個人を含め広く貸与をしたい。
- 質問 「空き家バンク」の、今年度の取り組みは。



童画館建設の行方は？

- 質問 調査・掲載・マッチングまで進みたい。民間委託も視野にある。
- 答弁 起業促進事業の成果と評価、助成した企業の業務などの披露も必要ではないか。
- 答弁 可能な限りそうしたい。
- 質問 文化財保護法改正への対応は、条例も必要で大仕事となる。どの部局が果たすのか。
- 答弁 教育長部局で進める。
- 質問 『国民文化祭』『全国障がい者芸術・文化祭』への取り組みの、「雪国文化の発信」とは。
- 答弁 どんな発信ができるか、担当に指示する。

産業建設委員会 産業常任委員会



代表質問者
並木 利彦

- 質問 西口広場の改修で、足湯の批判も聞けるが、予定通り行うのか。変更する考えはないか。
- 答弁 予定通り行う。変更は考えていない。
- 質問 「湯沢町観光協会へは、国内外へのプロモーション活動やイベント開催の支援を継続していく」とあるが、オリンピック対応の宿泊キャンペーンはどのように考えているのか。
- 答弁 上越新幹線の高崎駅、越後湯沢駅は、外国人オリンピック観戦者の受け皿となりえる。WEBやSNSで早くから、湯沢町は、オリンピック観戦宿泊地となりうる事を外国人に認識して頂くよう宣伝していく。
- 質問 「農林分野においても「地域おこし協力隊」を追加募集し」とあるが、農林分野とは。何を目的に、どんな就労等を行うせるか伺う。
- 答弁 越後湯沢交流事業推進協議会に2人の募集予定。滝の又農産内での活動は、体験工房大源太でのそば打ち体験作業と農作業に従事。越後湯沢交流事業推進協議会内で

生活福祉
常任委員会



代表質問者
宮田 眞理子

●人口移動の現状の認識

質問 湯沢町の人口の現状を肯定的に捉えているようだが、高齢化率は全国平均より高く、定住していた世帯は減っている。人口移動の現状をどの様に認識しているか。

答弁 年齢3区分の人口は全て社会増である。35歳から64歳までの転入超過が顕著であり、65歳以上も転入超過だが、20代から30代では転出が超過している。出生率を下げ止めることが最大の課題である。

●風疹予防接種について

質問 観光地である湯沢町でも国の対応を受けて緊急的な取り組みが必要と思うが対応はどうか。

答弁 抗体を持たない39歳から56歳までの男性に抗体検査、予防接種を公費で行う。湯沢町も無料クーポン等準備を進めているところである。

●町職員の対応要領は

質問 「障害者差別解消法の規定に基づいた町職員の対応要領を定める」とあるが具体的にどのような内容か。



湯沢町手話言語条例可決！

答弁 障がいを理由とする差別的な対応の禁止など実行性のあるものを定めていく。

●湯沢町手話言語条例の制定について

質問 町民はこの条例を、何をもって知るようになるか。

答弁 広報等で周知していく。

質問 町には手話ができる人がいるのか。

答弁 2人いる。



越後湯沢駅西口広場の改修は予定通りか？

の活動は、宿泊体験用の圃場管理、宿泊施設、観光施設とのイベント、ツアー等の連携管理。

質問 「湯沢西地区街なみ環境整備事業」を進めておりますが、主に駅東側につきまして主水公園の整備などについて具体的な計画の策定を進めてまいりますか。とあるが、具体的にはどのようなことなのか。

答弁 主水公園周辺を都市再生整備計画を制作し国の補助金を活用し整備していく。

平成
31
年度

一般会計当初予算審査

特別委員会審査報告

3月13日(水)～15日(金)3日間



委員長
白井孝雄

総務部

Q 消防サイレン吹鳴スピーカーは、どの程度の性能のものに改修するのか。

A 音達範囲を1km程度に広げたいと考えている。スピーカーには種類があるので、設置個所に適したものを選び、災害時の情報伝達の向上を図りたい。



音達範囲が向上したスピーカー

Q ワールドカップの負担金について、開催に向けた機運の醸成のためなど予算が増額となることはないか。

A 観光宣伝を行う中でワールドカップの情報発信を行うことはあると思うが、負担金以外の支出は考えていない。

Q 森林環境譲与税として55万円が計上されているが、今後の見込みは。

A 360万円程度の収入が見込まれているが、当初予算には林地台帳システムの経費に充当する分のみを計上している。来年度以降の収入額についてはまだ情報がない。

Q 布場スキー場はリフト等を撤去した後はどうなるのか。

A 借地契約は9月までとなるため、その後は町が関わることはなくなるが、下山コースはこれまでどおり町が借りられるよう協議したい。

健康福祉部

Q 高齢者等路線バス運賃補助金は、どの路線が対象となるのか。

A 町内3路線を補助の対象とする

る。広報等で対象路線をわかりやすく周知するよう努める。

Q 老人クラブ連合会の補助金を増額しているが、老人クラブの将来像についてどのように認識しているか。

A 現状ではクラブの数も会員数も減っている。事務の負担によって役員の手が足りないということがないよう支援していきたい。

健康福祉部 病院事業会計

Q 防犯カメラ更新・増設は、どの位置に何台程度の設置を予定しているのか。

A 正面玄関と駐車場出入口、各病棟への設置を予定しているが、詳細はこれから検討する。安全確保のために入院患者の動きも把握できるようにしたい。

子育て教育部

Q 秋に行われる国民文化祭に、湯沢町はどのように関わるのか。

A 湯沢魚沼エリアの事業として北越雪譜が紹介される。町の独自事業では童画の巡回展を予定している。また、町の文化事業や町内で行われるイベント等に関連事業と位置付ける。

Q 童画館建設については予算計上

がないが、どのような状況か。

A 引き続き検討することになっており、場所や規模が決定していない段階で予算計上はできない。今後必要となれば補正等で対応することになると思う。

Q プール保守点検が高額なのは、可動式のプールであるためか。

A ろ過器や温水ボイラーの点検等、可動床以外の点検を含む金額であり、それらは通常の屋内プールでも点検が必要なものである。

産業観光部

Q 夜間に雪のある歩道を避け車道を歩く歩行者がいて危険である。交通安全対策費にはチラシの印刷費なども計上されているが、シッパネだけでなく歩行者の安全対策についての啓蒙も行えないか。

A 高齢者が関係する事故も多いため、反射材などの配布を行っている。

Q 宿泊・消費支出・満足度調査は、どのような調査を行うのか。

A これまで観光協会が行っていた宿泊統計を次年度からは町の事業として行う。消費支出調査は、主に駅の中での聞き取り調査などを行う。満足度調査は観光圏で行っている調査の中から湯沢町分のデータを抽出して集計する。

Q 霊苑管理について、継承者などの問題は生じていないか。
A 管理ができず使用料が滞納となっている区画もある。継承者がいない場合には町に返還することになる。

地域整備部

Q 東口駅前広場の運用が変更になった場合に、計画平面図を作成することのだが、今後も検討会議が開催されるなかで、現在の素案が変更されることはあるのか。
A ローターリーの混雑解消についての検討材料として提示したものであり、意見がまとまれば変更することもある。

Q 駅東口については、課題の整理と運用の見直しだけでなく、時間をかけて全体的な改修を検討する必要があるのではないか。
A 運用の見直しを協議するための検討会議ではあるが、様々な町民の意見を取り入れて協議していくなかで、必要となれば運用の見直しだけでなく将来的には改修も検討する必要があるものと思う。

Q 駅西口の足湯については町民からも様々な意見がある、西口駅前広場改修の内容は。
A 足湯の施設については今年度の

予算で発注し次年度に繰り越す。平成31年度予算の西口駅前広場改修では、県道への飛び出し防止施設や電灯の設置などを行う。

Q 足湯の場所に雪をためると危険である。また、冬は使わないのとことで屋根がないが、真夏の炎天下に足湯を利用するとは思えない、屋根も必要なのではないか。
A 安全に配慮し排雪など行いたい。足湯の屋根については状況を見ながら検討したい。

Q かなつくりの足湯の位置を変えるとのことだが、冬も使えるのか。
A 今後も冬は使わない予定。温泉通りのにぎわい創出のため県道側に移動させる。

Q 温泉通りの電柱移設について、事業完了後には県道を横断する電線はなくなるのか、現在の進捗状況は。
A 東北電力の電柱を民地側に移設し、N・T・Tの通信線は地下埋設することとなる。進捗状況としては4割程度が完了している。

地域整備部 水道事業会計

Q 給水戸数が減となるなかで給水量が増となるのはなぜか。
A マンションへの定住者の増によ



り使用料が増加したものと推測している。

税務町民部

Q ひとり親家庭医療費は、離婚、未婚の場合も対象となるのか。
A いずれも対象となるが、所得制限があるためひとり親でも対象とならない人もいる。

Q 町内会長会議への参加については費用弁償の支出があるが、それ以外にも学校行事などもあり町内会長の負担となっている。町として経費負担する考えはないか。

町長への総括質疑

Q 町内会長会議への参加については費用弁償の支出があるが、それ以外にも学校行事などもあり町内会長の負担となっている。町として経費負担する考えはないか。

A 来賓として学校行事に招待する場合などは、町が参加を要請しているものではないが、他団体の対応なども確認してみたい。

Q 財源としての新たな税などについて、町長の見解は。
A 宿泊税を観光振興に活用している事例もあり、様々なことを研究していく必要があると考えている。県との連携なども含めて真剣に検討していきたい。

Q 駅前広場の改修や温泉通りの活性化など、検討会議で様々な議論がされているが、町民の意見や実際にそれらの施設を使用する人たちの意見が反映される仕組みを取り入れて欲しい。
A 各種の委員会には、有識者だけではなく関係団体の代表や一般の町民も委員として参加している。会議の中ではそれぞれの団体からの意見や要望など、様々な意見を取り入れ、事業を実施していきたい。

採決結果

反対 佐藤
賛成 並木・高橋(政)・高橋(五)・岸野・角谷・白井・関・宮田・田村・師田

平成
31
年度

一般会計補正予算

3月5日

委員長 関 忠夫

一般会計補正予算特別委員会を開催

第10号

4,117万円減額

特別委員会可決

歳入（収入）の主な増減

地方交付税……………288万円増
 民生費国庫負担金……………1,498万円減
 総務費国庫補助金……………1,076万円増
 土木費国庫補助金……………2,720万円減
 湯沢こころのふるさと基金（ふるさと
 納税寄附金）……………4,500万円増
 基金繰入金……………4,533万円減
 町債（土木債）……………1,300万円減

歳出（支出）の主な増減

カルチャーセンター屋内児童遊園整備
 ………………2,481万円
 駅東口エレベーター設置調査設計
 ………………500万円
 ふるさと基金寄付者謝礼
 ………………1,350万円増
 ふるさと基金積立金……………4,514万円増
 三俣地域振興対策費……………1,054万円減
 障がい者自立支援事業費
 ………………2,222万円減
 都市公園トイレ改築……………1,390万円減
 店舗等修景整備補助金……………1,000万円減

第9号
町長専決

本会議承認

1億8,293万円増額

歳入（収入）の主な増減

土木費国庫補助金……………1,470万円増
 総務費県負担金……………1,629万円増
 財政調整基金繰入金……………1億3,724万円増
 町債（土木債）……………1,470万円増

歳出（支出）の主な増減

地籍調査……………2,145万円増
 道路除排雪……………1億2,200万円増
 法面对策事業……………3,400万円増
 駅前広場・駐車場除排雪……………400万円増

主な質疑

Q 湯沢西地区の景観整備について。

A 店舗等修景整備補助金の受付を平成30年秋から開始できるように進めてきたが、準備が整わず年度内の事業開始が困難となった。

Q 屋内児童遊園の整備について、オールユースからの意見集約と利用者数の見込みは。

A 未就学児を持つ家庭を対象としたアンケートでは、85%から利用したいとの回答があった。



越後湯沢駅東口にエレベーターを設置予定

開会中の常任委員会審査

総務文教常任委員会

3月6日(水) 委員長 岸野雅人

議案・十日町市との境界に関する争論の調停の申請

正式に県の調停を申請する。3月議会↓議事録↓5〜6月申請↓90日以内に県が対応。

結果によっては裁判も考えられる。

議案・魚沼市と湯沢町の図書館等の相互利用に関する協議

定住自立圏内の施設相互利用、まずは図書館から。協定書を相互に議会上程の予定。

賛成全員 ↓《可決すべき》

議案・湯沢町消防団の定員、任免、給与、服務に関する条例の一部改正

374人を366人へ定数減。三国の2部を1部に統合。(現在の実員は305人)

賛成全員 ↓《可決すべき》

議案・湯沢町総合計画審議会条例の一部を改正する条例

定員12名を下限とし増やせるよう改正。任期も計画期間の5年とする。

賛成全員 ↓《可決すべき》

議案・湯沢町放課後児童クラブ設置条例の一部改正

児童クラブに制限条項を追加、さらに文字の訂正。

賛成全員 ↓《可決すべき》

議案・普通財産貸付契約の締結、旧土樽保育園、期間満了、同様の5年契約。

賛成全員 ↓《可決すべき》

議案・普通財産貸付契約の締結、旧中央保育園、新規できら星(株)、平成36年度末まで。

賛成全員 ↓《可決すべき》

ルビビジネス。総合戦略推進に連携も考えられる。

Q どのような利用となりそうか。

A 移住促進、テレワーク、転職サポート、体験移住等を考えている。

賛成全員 ↓《可決すべき》



借り手が決まった旧中央保育園

議案・普通財産無償貸付契約の締結、旧三国小学校、期間満了、同様の1年契約

現状は。

Q 現状は。

A 冬は閉鎖。30年度は夏秋で31人受入れ。他に、ALT委託派遣、公民館講座。

賛成全員 ↓《可決すべき》

陳情／全国知事会の「米軍基地負担に関する提言」に基づいて、

地方自治の根幹を脅かす日米

地位協定の見直しを国に求める意見書を提出する事を求める

賛成多数 ↓《採択すべき》

陳情／一会計年度任用職員制度施行に伴う臨時・非常勤職員の地位・待遇改善を求める意見書提出を要請する

賛成多数 ↓《採択すべき》

生活福祉常任委員会

3月6日(水) 委員長 宮田眞理子

議案・湯沢町税条例の一部改正

条ずれを改正するもの。

賛成全員 ↓《可決すべき》

議案・湯沢町税条例の一部を改正する条例の一部改正

旧B級品のたばこ税の経過措置を半年延ばすもの。

賛成全員 ↓《可決すべき》

議案・湯沢町国民健康保険税条例の一部改正

平成32年度までの一人当たり必要保険税額の決定方法と基金処分の考

議案・湯沢町国民健康保険税条例の一部改正

平成32年度までの一人当たり必要保険税額の決定方法と基金処分の考

議案・湯沢町国民健康保険税条例の一部改正

平成32年度までの一人当たり必要保険税額の決定方法と基金処分の考

議案・湯沢町国民健康保険税条例の一部改正

え方により据え置きに該当し、一人当たり保険税額は92,206円となる。

Q 被保険者数が減ってきているのは人口減によるものか。

A 主なものではそうだが、平成28年あたりから年金事務所から事業主に對して国民年金から厚生年金へという指導があり、国保から協会健保に移行する人が増えた。

賛成全員

↓《可決すべき》

議案・湯沢町介護保険条例の一部改正

正

低所得者の介護保険料について、公費を投入することで軽減を行う仕組みを設け2015年から一部実施してきたが、2019年10月の消費税10%への引き上げにあわせて更に軽減強化を行うこととしている。これにより軽減規定を改正する必要があるため、条例の改正を行う。

賛成全員

↓《可決すべき》

議案・湯沢町手話言語条例の制定

手話が言語であるとの認識に基づき、手話に対する理解を広げることにより、町民や訪れる観光客などが安心して過ごせる湯沢町を目指すため、この条例を制定する。

Q 町民はこの条例を、何をもちて

知ることになるか。

A 広報等で周知していく。

Q 町には手話ができる人がいるのか。

A 2人いる。

Q 担当部としてどういったことができるのか、具体的に考えはあるか。

A 今後アンケート等で調べて進めていきたい。

賛成全員

↓《可決すべき》

議案・平成30年度国民健康保険特別会計補正予算

歳入歳出予算の総額にそれぞれ4,428万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ103,368万円とする。歳出の保険給付費と同額を、県からの交付金として歳入に計上している

賛成全員

↓《可決すべき》

議案・平成30年度介護保険特別会計補正予算

歳入歳出予算の総額からそれぞれ3,601万円を減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ91,242万円とする。主に保険給付費で見込まれる不用額の減額と、それに伴う歳入の補正である。介護給付費支払準備基金の年度末残高見込は12,593万円である。

Q 保険給付費の減額ということは対象者が達者になったのか。

A 重度の対象者が亡くなられた。

Q 調整交付金がずいぶん減額されてきているが、算定基準はどうなっているか。

A 保険給付費に率を掛けて算定するが、保険給付費が減額している。湯沢町は5.89%で計算している。

賛成全員

↓《可決すべき》

議案・平成30年病事業会計補正予算

施設整備費540万円を減額し、今年度に予定していた冷温水発生機の更新工事を次年度に行う。冷暖房のための機械で、工事は暑くも寒くもない時季にしなければならない。

Q 納期は大丈夫なのか。

A タイミングは5月から6月か、9月から10月の2回だが、9月から10月に行えば業者とも打ち合わせがしっかりとできる。

賛成全員

↓《可決すべき》

陳情／基礎年金額等の改善と年金の

毎月支給を求める意見書の採択を求める

賛成多数

↓《採択すべき》



産業建設常任委員会

3月6日(水) 委員長 田村計久

議案・平成30年度下水道特別会計補正予算

歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ3,549万円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ106,305万円とするもの。実績に伴う不用額の減額が主な補正である。

賛成全員

↓《可決すべき》

陳情／「最低賃金の改善と中小企業

支援の拡充を求める意見書の採択を求める

賛成全員

↓《採択すべき》

陳情／長時間労働もハラスメントも

ない人間らしい働き方の実現を求める

賛成全員

↓《採択すべき》

議員表決結果報告

平成31年3月定例議会

- ・採決結果の記載方法 (可=賛成多数で可決・採択等の場合：否=賛成少数で否決・不採択等の場合)
- ・表決結果の記載方法 (議員個々の賛否：賛成=○・反対=×・欠席=欠)：議長は採決に参加できません

提出者	議案名	採決結果	並木利彦	高橋(政)	高橋(五)	岸野雅人	角谷勉	白井孝雄	関忠夫	宮田眞理子	田村計久	佐藤守正	師田保	
町長	平成30年度一般会計補正予算(第9号)の専決処分の承認	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	湯沢町農業委員会の委員の任命	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	十日町市との境界に関する争論の調停の申請	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	魚沼市と湯沢町の図書館等の相互利用に関する協議	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	湯沢町常勤特別職の職員に対する給与条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	湯沢町議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	湯沢町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	湯沢町消防団の定員、任免、給与、服務に関する条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	湯沢町総合計画審議会条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	湯沢町税条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	湯沢町税条例の一部改正の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	湯沢町国民健康保険税条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	湯沢町介護保険条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	湯沢町手話言語条例の制定	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	湯沢町公民館条例の全部を改正する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○
	湯沢町公民館使用条例を廃止する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○
	湯沢町青少年問題協議会設置条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町放課後児童クラブ設置条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	旭原花の郷体験交流施設の指定管理者の指定	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	普通財産貸付契約の締結(旧土樽保育園施設)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	普通財産貸付契約の締結(旧中央保育園施設)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	普通財産無償貸付契約の締結(旧三国小学校施設)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	土地賃貸借契約の締結(有限会社栄屋)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	土地賃貸借契約の締結(農事組合法人滝の又農産)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	土地賃貸借契約の締結(株式会社ガーラ湯沢)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	土地賃貸借契約の締結(株式会社MEリゾート)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	土地賃貸借契約の締結(株式会社ライフスタイルサービス)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	土地賃貸借契約の締結(株式会社サクセスリゾート越後湯沢ホテル)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	土地賃貸借契約の締結(HRTニューオータニ株式会社)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ロープウェイ線路架設等による土地占用契約の締結(株式会社ガーラ湯沢)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度一般会計補正予算(第10号)	可	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	
平成30年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成30年度介護保険特別会計補正予算(第4号)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成30年度下水道特別会計補正予算(第3号)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成30年度病院事業会計補正予算(第2号)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
当	平成31年度一般会計予算	可	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	
	平成31年度国民健康保険特別会計予算	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	
	初	平成31年度後期高齢者医療特別会計予算	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		平成31年度介護保険特別会計予算	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	予	平成31年度下水道特別会計予算	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		平成31年度水道事業会計予算	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
算	平成31年度病院事業会計予算	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
町道の認定	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
陳情	全国知事会の「米軍基地負担に関する提言」の主旨に基づいて、地方自治の根幹を脅かす日米地位協定の見直しを国に求める意見書を提出する事を求める陳情	可	○	×	○	○	○	×	×	×	○	○	×	
	「会計年度任用職員制度施行に伴う臨時・非常勤職員の地位・待遇改善を求める意見書」提出を要請する陳情	可	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	
	「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情	可	○	○	○	×	○	×	×	×	×	○	○	
	長時間労働もハラスメントもない人間らしい働き方の実現を求める陳情	可	○	○	○	×	○	×	○	×	○	○	○	
	基礎年金額等の改善と年金の毎月支給を求める意見書の採択を求める陳情	可	○	×	○	×	○	×	○	×	○	○	○	
議会提出	会計年度任用職員制度施行に伴う臨時・非常勤職員の地位・待遇改善を求める意見書	可	○	○	○	×	○	×	○	×	○	○	○	
	地域からの経済好循環の実現に向け最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書	可	○	○	○	×	○	×	○	×	○	○	○	
	長時間労働もハラスメントもない人間らしい働き方の実現を求める意見書	可	○	○	○	×	○	×	○	×	○	○	○	
	全国知事会の「米軍基地負担に関する提言」の主旨に基づいて、地方自治の根幹を脅かす日米地位協定の見直しを国に求める意見書	可	○	×	○	○	○	×	×	×	○	○	○	
基礎年金額等の改善と年金の毎月支給を求める意見書	可	○	×	○	×	○	×	○	×	○	○	○		

平成30年度の議員の出勤簿を公開します

出勤簿の期間は 平成30年4月1日～平成31年3月31日

議員名 会議名と出欠状況	本会議				常任委員会				議運・特別委員会			
	出席必要日数	欠席日数	遅刻・早退回数	早退・遅刻理由	出席必要日数	欠席日数	遅刻・早退回数	早退・遅刻理由	出席必要日数	欠席日数	遅刻・早退回数	早退・遅刻理由
並木利彦	17				35	1		◎	10			
高橋政喜	17		1	早◎	35	1		◎	10			
高橋五輪夫	17				37	1		◎	18			
岸野雅人	17				33	1		◎	18			
角谷勉	17				33	1		◎	10			
白井孝雄	17				38				18			
関忠夫	17				20				10			
宮田眞理子	17				17	1		◎	18	1		◎
田村計久	17				20				18	1		◎
佐藤守正	17	2		◎、◎	18				18	2		◎、◎
師田保	17				20	2		◎、◎	10		1	早◎
南雲正	17											

※欠席・遅刻・早退の記載方法：欠（欠席）、遅（遅刻）、早（早退）と表示。

理由の記載方法：◎病気等（自身、家族を含む）、◎冠婚葬祭（出席案内をもらった場合も含む）、◎議員としての公務等出張、◎事故等、◎自己都合と◎A～◎Eで表示。

議会活動日誌



19日	18日	16日	13日	12日	8日	7日	4日	2月1日	31日	30日	23日	22日	18日	15日	10日	9日	7日	1月4日
南魚沼職業能力開発運営協会の理事会	南魚沼友会総会（新潟市）	南魚沼市議会 第70回十日町雪まつり歓迎レセプション（十日町市）	全国豪雪地帯町村議会議員視察研修対応	湯沢町・南魚沼市・魚沼市議会議員協議会正副議長会議	湯沢町・南魚沼市・魚沼市議会議員協議会正副議長会議	産業建設常任委員会	全国中学校体育大会 スキー大会 開会式（南魚沼市）	東アジア文化都市2019豊島開幕式典（東京）	総務文教常任委員会	魚沼地域特別養護老人ホーム組合 監査（南魚沼市）	会及び新年祝賀会（南魚沼市）	湯沢高原オープウェイ運営委員会（一社）雪国青年会議所事業説明会	議会広報常任正副委員長 打合せ	議会広報常任委員会	湯沢町新春賀詞交歓会	議会広報常任委員会	湯沢町消防新年祝賀会	南魚沼市正副議長 新年挨拶 来庁

閉会中の常任委員会調査

総務文教常任委員会

1月31日(木)

委員長 岸野雅人

●湯沢学園施設の現状と課題

第一体育館屋根の漏水対策は一段落、ドレイン修繕及びドレイン凍結対応(いろいろ広場・子ども園)が必要である。

●総合戦略事業(全般・企業誘致・広報戦略)の現状

●その他

△子育て教育部

スキー指導者に候補者(山川純子さん)の内諾を得た。ユースポ所属となる。

△総務部

「請願」駅から遠い高校生の通学について、燃料代は助成しない。路線バスの増便やタクシーを検討したが課題あり。引き続き検討する。

生活福祉常任委員会

2月20日(水)

委員長 宮田眞理子

●国民健康保険税の次年度課税

国民健康保険は30年度より県に移管された。県の通知により31年度の一人あたり納付金額(本算定)は107,448円で2,000円程高くなる。31年度納付金額は245,195,908円である。

●高齢者の路線バス低料金化

運転免許証を持たない高齢者や障がい者が低料金

で路線バスが利用可能な体制を構築する。

統一料金で1回300円、個人負担は100円で町が200円助成し7月より開始予定。

●湯沢病院との意見交換

31年度医療機器更新等の予算要求について説明。電動ベッド95台の入れ替えは高額なため、3年間に分けて購入する。消雪井戸の洗浄工事を予定している。

産業建設常任委員会

2月8日(金)

委員長 田村計久

●新ごみ処理施設建設と現処理施設の現状

・新ごみ処理施設は地元同意が得られず37年度の供用開始が困難となった。2巡目の説明会と先進地視察を継続する。

・島新田可燃ごみ処理施設は昨年1号炉が故障し、10月まで魚沼市、小千谷市に運搬処理。

●インバウンドの受け入れ整備状況と観光公害対策

夕食難民、バックカントリ―遭難、マナーや治安の悪化、雪道の運転など対策を検討する必要がある。

●駅西口広場、東口広場、温泉通りの活性化

西口広場の消雪パイプ完了。排雪は3回行った。東口広場は検討会で運用と配置換えを検討する。温泉通りの電柱移設は26本中9本移設済み、31年度に完了予定。

20日 生活福祉常任委員会

魚沼地域特別養護老人ホーム組合

議会(南魚沼市)

22日 魚沼地域特別養護老人ホーム組合

監査(南魚沼市)

越後湯沢駅東口駅前広場運用検討

24日 会議

新潟県後期高齢者医療広域連合議

会2月定例会(新潟市)

25日 魚沼地区郵便局長会及び魚沼地区

なでしこの会通常総会

26日 産業建設常任委員会 視察(妙高

市・野沢温泉)

28日 都市計画審議会

中国東方航空副經理との交流会

3月1日 議会運営委員会

(苗場)

2日 議会広報常任委員会

第23回「越後湯沢全国童画展」表

4日 彰式及び交流会

湯沢町立中学校第59回卒業証書授

5日 与式

第1回湯沢町議会定例会

18日 湯沢町福祉関係者合同研修会・町

民研修会

19日 議会運営委員会

第1回議員全員協議会

22日 湯沢小学校第72回卒業証書授与式

日中観光トップフォーラム・歓迎

25日 交流会(苗場)

魚沼地域特別養護老人ホーム組合

28日 監査(南魚沼市)

議会広報委員会

Q 夏期シーズンの夜、暑さ対策として、遊歩道、ランニングコース、陸上競技場等に照明を設置できないか

並木利彦



A 大事なことである。これからどのような事ができるか考えていく

Q 夏の観光について

質問 年々、夏の気温が湯沢でも上昇している。

夏合宿の先生方は、昼休みを長く取り一番暑い時間帯を避け、暑さの中でどのように体調を崩さないか苦慮している。一般のお客様も過ごし易い時間帯まで、外出を控えている。

答弁 暑さ対策として、夕方から夜間にかけて楽しむ施設や施策などを、検討できないか。西山通りを魅力ある通りになるよう改修している。ホテルの里、イベント

等で湯沢の夜を楽しんで頂きたい。

質問 湯沢町のスポーツ施設を全部整備するには多額の費用がかかる。夏の方向性がないままでは、民間が、多額の費用を施設にかけるには躊躇します。夏季スポーツ合宿は、誘致に力を入れる種目を絞るなど、町としての方向性を定める必要があるのではないか。

答弁 さまざまな種類の中から一つに絞るのは難しい。

質問 湯沢中央公園陸上競技場と湯沢

中学校のグラウンドを同時開放で1日600名以上の受け入れ。湯沢中央公園陸上競技場の改修工事（最低2レーンのアンツーカー）、ロードとクロカンのコースを設置すれば、陸上競技合宿を誘致できますが町長のお考えは。

答弁 いろいろな人の話を聞き、既存の施設をうまく利用し活用していく。



湯沢中央公園内陸上競技場

Q 事務事業評価委員会について

質問 事務事業評価委員会について、実施した事業の評価だけではなく町の政策全般について評価を行う第三者をいれた委員会とすることはできないか。

答弁 湯沢町総合計画審議会が担うべき。

Q 湯沢町の方向性を検討するシンクタンクの設置について

質問 オールユース会議は設置要綱が定められている。若者の意見を集約することは大変なことである。しかし、その意見を政策につ

なげるためには、それらと里まとめる組織が必要だと思いがどのようにお考えか。

答弁 湯沢町総合計画審議会を充実させる。



Q 湯沢駅東口エレベーター 設置進捗は

たか はし まさ き
高橋 政 喜



A エレベーター設置事業に取り組む ことを約束する

答弁 遊歩道整備区間は、東湯の800m、遊歩道に桜を植樹し駐車場の拡大と駐車場内にトイレの設置を予定。

質問 松川・中子川原線沿いの町有地内の杉を伐採し、沿線にある条例貸付地の返還交渉を進め、整備に必要な私有地についても所有者と交渉し、町が取得する方向で考えていく。周辺の活用方法について産業観光部に指示した。「計画歩道の基本的な考え方」を改めて説明を伺う。



答弁 所有者には説明済み。アクリル板についても所有者の考えを尊重しなければならぬ。

質問 中里瑞祥庵の仁王像の劣化について、対策として金網をアクリル板に変えられないか。

答弁 行政は前例がない事や理由に対応しない。詳しく話を聞きたい。

Q

町道松川・中子川原線周辺整備は

質問 湯沢町障がい者計画、障がい福祉計画、障がい児福祉計画を策定「誰もが安心して、生きがいをもって暮らせるまちづくりをめざして」の計画がある。東口エレベーター設置を強く求める。湯沢町と東日本旅客鉄道(株)との交渉結果と、今後の具体的な進め方を伺う。

答弁 町は優先度の高いため取り組む。一日も早いエレベーター設置に尽力する。湯沢町で生活している人達が、苦の無いようにエレベーター事業に取り組むことを約束する。

質問 町は冬季対策についてどのような住民サービスを考えているのか伺う。

答弁 不便を感じる事も理解する。いろいろな支援も有るので活用を願う。

Q

雪国湯沢の
高齢者・障がい者対策は

質問 行政は前例がない事や理由に対応しない。

答弁 詳しく話を聞きたい。

Q 湯沢高原ロープウェイの将来を 考え始めよう

&

きし の まさ と
岸 野 雅 人



A どのように考えたら良いのか 考えたい



答弁

5年か、10年か。慎重に判断したい。

もっと長い契約期間が望ましいのではないか。

質問

31年度が現5ヶ年契約の中間年。将来構想を

答弁

どのように考えたら良いのか考えたい。

検討会議または委員会を立ち上げ、備え始めるべきと思う。どうか。

質問

ロープウェイは今年28年目。使い続けるなら、大規模改修はどうする。はたまた別の構想か、基金積み立ては、などなど、町民的な議論と合意形成が必要。

答弁

外国人の転入もある。32年度へ向け、取り組んでいきたい

ような取り組みを望む。

弊害も理解しつつ、近隣地区のモデルともなる

場でも必要とされるかも知れない。

組み。まずは防災対策、やがては医療や福祉の現

場でも必要とされるかも知れない。

質問

外国人が公文書などを「易しく」理解できるように「優しい」気持ちで書き換える取

A 取り組んでいきたい

Q

外国人向け やさしい日本語 対応を

の、良いものを活用したい。

答弁

カーは制作に向け検討中。標語

質問

車両用ステッカー制作や標語の募集など、行ってはいかがか。

A ステッカーは、制作を検討中

Q

シッパネ条例、より浸透を



例「余震が起きるおそれもあるため、余震に対して十分に注意してください」

やさしい日本語 → よしん あと く じしん き 「余震〈後で 来る 地震〉に 気をつけて ください」

駅での下車人数も含め、再調査しました。

バスが電車に連絡するか			電車	始業に間に合うか(下車人数)		
大源太	蓬橋	浅貝	湯沢発	塩沢商工 2月 26日	八海 2月 27日	六日町 2月 27日
×	×	×	→ 7:13 →	○ (3人)	○ (26人)	○
×	×	○	→ 8:02 →	○ (6人)	○ (10人)	×
○	○	○	→ 8:16 →	○ (2人)	×	×

六日町高校へは湯沢駅7:13発に送る必要あり。

六日町高校へは湯沢7:13発の電車に、そして八海高校へは湯沢8:02発の電車に送る必要あり。

他に2テーマを質問
○町長と議員の政策対話が必要と思う。どうか。
○「請願」駅から遠い高校生家庭への通学費助成」への対応は、「やらに検討」程度で良いのか。



Q 国保税の均等割の削減を

さとう もりまさ
佐藤 守正



A 国の法改正を待って行なうべきことだ

質問

国保税と協会健保の保険料を比べてみる。
・40歳以下の夫婦と子ども二人の4人世帯で年収400万円の場合。

この世帯の国保税は37万4,928円。対して同じ収入の協会健保は19万6,452円。その差は17万9,000円。

この大きな差は、協会健保にはない平等割と均等割のせいだ。収入には関係なく世帯に一律に課せられる平等割(1万6,560円)、家族一人につき課せられる均等割

(5万1,600円(介護分の負担がない世代は3万7,320円)×家族数)、これが重くのしかかる。特に子どもにまで課税する均等割は何らかの軽減措置をとるべきではないか。

自治体が独自に均等割の減額をすることは、その分を他の被保険者の税額を上げるか、一般会計からの繰入れの増額につながる。国保の施策は自治体独自ではなく法制度の改正に伴い実施すべきものだ。

答弁

自治体が独自に均等割の減額をすることは、その分を他の被保険者の税額を上げるか、一般会計からの繰入れの増額につながる。国保の施策は自治体独自ではなく法制度の改正に伴い実施すべきものだ。

Q

高齢者の移動の権利を保障するために、デマンドタクシー導入の検討を

質問

路線バスの運賃助成事業が準備されているが、ドアtoドアのデマンドタクシーを望む高齢者も多い。導入を検討したらどうか。

答弁

福祉バスの継続、路線バスの低料金化、介護保険や有償ボランティアを使った移動の介助、この3本柱でやっていきたい。

Q

防衛省からの新規自衛隊員募集に関わる名簿提出要望に、町はどのように応えてきたか

質問

憲法改正問題とからん名簿提出が問題になっていく。湯沢町はどのように対応してきたのか。自衛隊法120条施行令120条は「市町村長に対し資料の提出を求めることが出来る」とあるが、これは提出の義務を課している

ではないと防衛省も認めている所だ。

答弁

自衛官及び自衛官候補生の募集に関わる情報提供は防衛大臣から依頼され、住民基本台帳法第11条第1項に基づき、中学2年生と高校生の名簿を提出している。

質問

提出することと閲覧を認める事とは意味が異なる。どちらなのか。提出しているとしたらどのような媒体でか。

答弁

紙に印刷して提出している。



バスを待つ高齢者

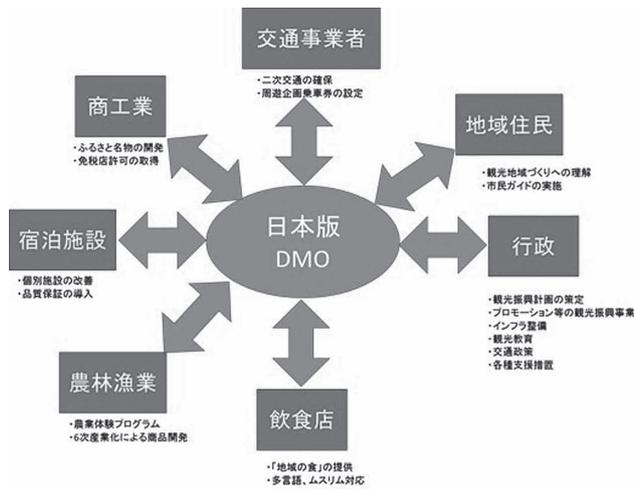


Q 観光立町として新しい財源確保に係る 審議会の設置をすべきと考えるが

たか はし い わ お
高 橋 五輪夫



A 湯沢町観光協会内部での検討を 注視していきたい



質問

今後も主に冬季間は外国人旅行者が増えると予測される。

湯沢町より先進的な取り組みを行なっている全国の市町村を参考に、今後湯沢町が行うべき観光の対策、政策とはなにか研究し、官民一体でいゆるDMOで観光政策を推進すべきである。

そこでDMOの安定的な財源をどのように確保できるのか、また、法定外目的税である宿泊税を導入できるのか否

か、メリット・デメリットなどを検討するためのワーキンググループ（審議会）を次年度に設置し検討すべきと考えるが町長の考えを伺う。

答弁

費用対効果とDMOの役割には十分な検討が必要だと感じている。

湯沢町観光協会内部で検討をすると聞いているのでその議論を注視する。また次年度はデータの分析に基く観光政策を実現させるため、宿泊統計、満足度調査、消費額調査を実施する予定と

なっていて、この調査結果がDMO設立の議論のきっかけとなればと期待している。

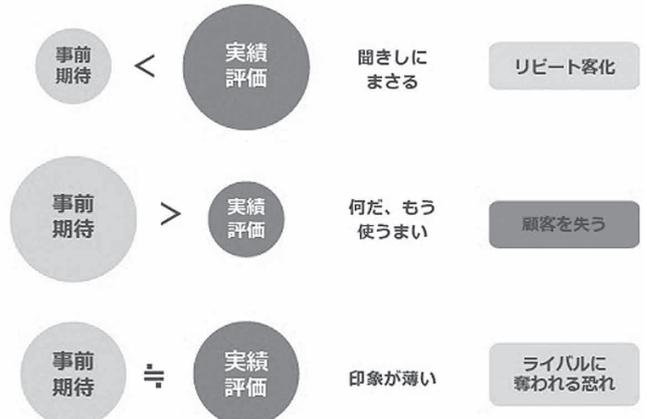
質問

例えばですが、ラーメン屋に行きたいお客様が満席で仕方なくラーメンの無い食堂に行くような事はそのお客様も食堂にとっても不幸な事。食堂は

お客様が来てくれたので良かったように思われるが、そのお客様は満足できなかったが故にお客様の評価が正しく反映されない場合があるからである。

お客様が湯沢に本当に来て来て来ているのか、それとも別のスキーリゾートの予約が取れなくて来ているのか分析は難しいが、せめてどんなお客様に来て頂きたいかターゲットを想定し市場開拓をする事が今後の観光戦略にとっては欠かせないはずである。

顧客満足の定義



戦略的に市場を開拓し、ある一定の市場から支持されるような観光計画を作れるような地域DMOの設立に向けた審議会をいち早く設置すべきと考えるが。

答弁

審議会が良いのかを含め、私が各観光協会と調整し考えていきたい。



Q 総合戦略の目標達成状況と最終年度の展開は

南 雲 正



A 湯沢町総合戦略推進会議で公表、報告し、町のホームページで公開する

質問 人口ビジョンを達成するための目標、施策、事業を定めた総合戦略が平成31年度に最終年度を迎える。現状における達成状況と最終年度の展開について伺う。

答弁 3月25日開催予定の湯沢町総合戦略推進会議において公表、報告し、その後湯沢町のホームページで公開する。

Q 2020年から始まる小学校英語教科化を見据えた湯沢学園の対応は

A ALTを活用し、全面实施を1年先取りして英語指導又は英語指導を行う

質問 2020年の教育改革により、小学校3年生から英語教育がスタートし、小学校3、4年生では体験型学習という方法で英語に慣れ、親しむことを目的とし、小学校5、6年生では英語が教科となる。

答弁 現在配置されている2名のALTの活用で、全面实施を1年先取りし、3、4年生で各35時間、5、6年生では70時間の英語活動ないし教科としての英語を指導する。

既に全国の小学校では英語教科化を見据えた取り組みが始まっているようであるが、湯沢学園の取り組みについて伺う。

既に全国の小学校では英語教科化を見据えた取り組みが始まっているようであるが、湯沢学園の取り組みについて伺う。

Q 湯沢中スキー部（アルペン、クロスカントリ）の復活、強化に町の支援を

A アルペンスキー振興指導員が確保でき、クロスカントリもジュニア育成会の力を借り、小学校から中学校の部活動へつなげたい

質問 第56回全国中学校スキー大会に県内から74人の選手が出場したが、地元開催のため強化に力を入れてきた湯沢中学校からは、アルペン種目に2名の女子選手のみが出場であった。

答弁 生徒数の減少からスキー部員の減少も進んでいるが、4月からアルペンスキーの振興指導員を確保でき、活動を停止しているクロスカントリについてもジュニア育成会、学園支援ボランティアなどを活用しながら復活を図りたい。

湯沢中学校では、すでにクロスカントリ部は活動が停止され2年目を迎え、指導者に恵まれているアルペンスキー部も部員が減少し、危機的状况にあるように思われる。スキー競技の原点である湯沢中クロスカントリ部の復活とアルペンスキー部の強化に町を挙げて取り組むことがスキー観光の町、湯沢の責務であると思うが町長の見解を



小学校でのクロカンスキー授業

4月29日に議員の任期が終わります。



4年間大変お世話になりました。

湯沢町議会議長 南雲 正

いよいよ、今月は湯沢町議会議員の改選を迎えることとなります。

人口減少対策、若者の定住促進、急速に進行する高齢化対策等山積する諸問題に迫られる中、議会の基本ルールを定めた「議会基本条例」、議員活動の行動基準を定めた「議会議員政治倫理条例」を施行し、スタートした任期4年間であります。この条例に基づく「開かれた、信頼される議会」と「町民の皆様に寄り添う議会」の実現に向けた議会の取り組みに対し、皆様の厳しい審判を頂戴することと思いますが、議員任期中の町民の皆様のご協力とご支援に感謝申し上げます。

全国町村議会議長会から表彰されました



田村計久議員、師田保議員が、長年にわたり地方自治の振興発展に貢献された功績により、全国町村議会議長会から表彰されました。

お疲れさまでした



任期4年が終わり今回で議員活動を終了する高橋五輪夫議員、師田保議員、角谷勉議員。大変ご苦労さまでした。3人の方々のご多幸、ご健康を祈念申し上げます。

編集後記

平成最後の議会となりました。平成は「湯沢町アーバン・リゾート・ステイ・サートイ計画」が策定されスタートした事を記憶しています。その後30年経過し当時の構想と住民意識はどのように変化したのでしょうか。

議会は町長（行政）と両輪と言われ、近すぎず離れすぎず、その「間」の良い緊張感が必要ですが、「議会だより」を通じ皆様はどのように感じられたでしょうか。

広報委員会では分かり易く議会活動をお伝えできるように工夫してきましたがその難しさに苦勞したことを思い出します。

次号の「議会だより」は改選された新委員会で編集しお届けいたします。4年間大変ありがとうございました。

編集委員長 高橋五輪夫

議会広報常任委員会

- 委員長 高橋五輪夫
- 副委員長 並木利彦
- 委員 白井孝雄
- 角谷 勉
- 岸野 雅人
- 高橋 政喜